



「有観客公演」の制限緩和をかちとったことにふまえ、

各サークルの文化諸企画を成功させよう！

11-12月期、早稲田サークル文化をより創造的に発展させよう！

すべてのサークルは文連のもとに団結を強めよう！

文連常任委員会

(1)

すべてのサークル員のみなさん！ 大学当局・学生部は11/15、サークルの「集客を伴うイベント等の実施」を認めることを決定しました。あわせて、学生会館施設の人数制限も緩和しました（例えばW403-405の上限人数が23人→40人）。私たちが一貫して粘り強く要求することをつうじて認めさせた今回の決定にふまえ、この11-12月期、公演や演奏会などのサークル諸企画を盛大に実現し、早稲田サークル文化を創造的に発展させよう！

私たちは今春以降、学生部によるコロナ対策を理由としたサークル活動規制を緩和させるために、サークルのジャンルや規模、文連加盟・未加盟の違いを越えて団結し、サークル間で活発な討議をくりひろげ、要求書や公開質問状を作成して学生部に提出してきました。コロナ感染拡大下でキャンパスに集うことができないなかでも、私たちは、サークル活動上の様々な困難をめぐってサークル間の協議を積み重ね、サークルの横のつながりを新たにつくりだしながら、コロナ対策を理由としたサークル活動規制を着実に緩和させてきました。サークルの団結を基礎とした私たちのとりくみの意義を、ぜひみなで確認しましょう！

(2)

すべてのみなさん！ 私たちは今回の決定を基礎に、1年間のサークル活動の集大成を迎える11-12月期、それぞれのサークル諸企画を大成功させましょう！ 私たちは、政府による感染対策の放棄や東京オリンピックの強行によってもたらされた第4波、第5波の感染拡大のもとで、対面でのサークル活動が著しく制限され、予定していた公演・演奏会などの中止またはオンライン配信への切替えを余儀なくされなが



らも、創意工夫を凝らして一步一步サークル活動を前進させてきました。このなかで培ってきた力をいまこそ発揮しよう！ コロナ・パンデミックの2年間、様々な困難をのりこえサークル活動を牽引してきた3年生も、入学以来、対面でのサークル活動の機会が限られてきた1～2年生も、ともにこれまで積み重ねてきた練習・稽古、研究の成果を、有観客の公演・演奏会、発表会などに結実させましょう！

(3)

この11-12月期、早稲田サークル文化のさらなる発展をかちとるために、今回の決定にふまえ、私たちのサークル活動への支援の充実を求めよう！ 有観客公演を実現するにあたって、感染対策費用など出費がかさんでいます。サークル補助金支給上限額30万円を増額させよう！ 「有観客公演」開催に必要なPCR検査、抗原検査の費用などコロナ対策に必要な経費は、現行のサークル補助金とは別枠で支給させよう！ コロナ対策を理由とした学生会館の人数・時間規制のために外部に練習場所を確保せざるを得ないサークルへの特別補助金を支給させよう！ 学生会館の人数・時間制限のさらなる緩和を実現しよう！ 私たちの学費で換気機能が整備されたキャンパスの空き教室を、夏休みと同様にサークルが活動場所として利用できるように、共通教室の貸し出しを再開させよう！ 私たちが再三にわたって要求しているように、既にキャンパスのラウンジには設置されているアクリル板やサーキュレーターのサークル活動施設への導入、壊れて開かない窓の修理（学生会館E521など）を直ちに実施させよう！

以上の諸要求を実現し、早稲田サークル文化をさらに創造的に発展させるために、すべてのサークルは文連のもとに団結を強化しよう！ すべてのサークル員のみならず！ とともにがんばりましょう！

お知らせ

「文化の交差点 稲刈号」
を発行しました。

PDF版はこちらから
ご覧になれます。

